

本品は加温するとき、澄明な液となる。

融点 38 ~ 60 °C (第3法)。

純度試験

(1) 色 本品を加温して溶かし、その 5 mL を試験管にとり、液状を保たせるとき、液の色は次の比較液より濃くない。比色に際しては白色の背景を用い、反射光線で側方から比色する。

比較液：塩化鉄(Ⅲ)の色と比較原液 1.6 mL に水 3.4 mL を加える。

(2) 酸又はアルカリ 本品 35.0 g に熱湯 100 mL を加え、5 分間激しく振り混ぜて水層を分取し、ワセリン層は更に熱湯 50 mL ずつで 2 回同様に操作し、水層を合わせ、フェノールフタレイン試液 1 滴を加えて煮沸するとき、液は赤色を呈しない。更にメチルオレンジ試液 2 滴を加えるとき、液は赤色を呈しない。

(3) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 2 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 3.0 mL を加える (30 ppm 以下)。

(4) ヒ素 本品 1.0 g をとり、第 3 法により検液を調製し、装置 B を用いる方法により試験を行う。ただし、硝酸マグネシウム六水和物のエタノール (95) 溶液 (1 → 50) 10 mL を加えた後、過酸化水素 (30) 1.5 mL を加え、点火して燃焼させる (2 ppm 以下)。

(5) イオウ化合物 本品 4.0 g にエタノール (99.5) 2 mL を加え、水酸化ナトリウム溶液 (1 → 5) に酸化鉛 (Ⅱ) を飽和した澄明な液 2 滴を加え、しばしば振り混ぜながら 70 °C で 10 分間加熱した後、放冷するとき、液は暗色を呈しない。

(6) 有機酸類 本品 20.0 g をとり、あらかじめフェノールフタレイン試液 1 滴を加え淡赤色を呈するまで 0.01 mol/L 水酸化ナトリウム液を加えた希エタノール 100 mL を加え、還流冷却器を付け 10 分間煮沸し、フェノールフタレイン試液 2 ~ 3 滴を加え、激しく振り混ぜながら 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 0.40 mL を滴加するとき、液の色は赤色である。

(7) 油脂又は樹脂 本品 10.0 g に水酸化ナトリウム溶液 (1 → 5) 50 mL を加え、還流冷却器を付け、30 分間煮沸し、冷後、水層を分取し、必要ならばろ過し、希硫酸 200 mL を加えるとき、油状の物質又は沈殿を生じない。

強熱残分 0.05 % 以下 (2 g)。

貯法 容器 気密容器。

本品は「ステアリアルアルコール」又は「セタノール」、「サラシミツロウ」及び「白色ワセリン」を水浴上で加温して溶かし、かき混ぜ、これに「コレステロール」を加えて完全に溶けるまでかき混ぜた後、加温をやめ、固まるまでよくかき混ぜて製する。

性状 本品は白色で、わずかに特異なおいがある。

本品に等量の水を混和しても、なお軟膏よりの稠度を保つ。

貯法 容器 気密容器。

親水ワセリン

Hydrophilic Petrolatum

製法

サラシミツロウ	80 g
ステアリアルアルコール又はセタノール	30 g
コレステロール	30 g
白色ワセリン	適量
全量	1000 g